

エン、2025年上半期 「レジューメ検索キーワードトップ10」を発表

若手は「SaaSビジネス」、ミドルは「事業の推進・管理」を担う人材の需要が顕著 －『AMBI』『ミドルの転職』レジューメ検索キーワードトップ10－

エン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：越智通勝）は、若手ハイキャリア向けスカウト転職サービス『AMBI』（<https://en-ambi.com/>）と、ミドル世代に特化したスカウト転職サービス『ミドルの転職』（<https://mid-tenshoku.com/>）上で、レジューメ（職務経歴書）を検索する際に使用したキーワードを集計いたしました。各サービスの2023年から2025年の各年上半期のランキングトップ10についてまとめましたので、ご報告いたします。

ランキング（2025年上半期）

順位	若手ハイキャリア向けスカウト転職サービス 『AMBI』	順位	ミドル世代に特化したスカウト転職サービス 『ミドルの転職』
1	SaaS	1	決算
2	Java	2	PM
3	営業	3	給与計算
4	カスタマーサクセス	4	株主総会
5	要件定義	5	連結決算
6	インサイドセールス	6	SaaS
7	新規開拓	7	採用
8	決算	8	java
9	エンタープライズ	9	単体 決算
10	Python 新規	10	要件定義

【調査概要】

- 調査対象：『AMBI』『ミドルの転職』を利用する企業
- 調査期間：2025年1月～6月

概況解説



『AMBI』『ミドルの転職』
事業責任者 峯崎 直哉

今回のランキングから、企業が若手とミドルに期待する役割の違いがうかがえます。若手層には、SaaSやAI・データ活用などの注目分野でセールス人材を中心とした「現場での実行力」が求められ、ミドル層にはDX化を完遂へと導く「“攻め”の推進力」と、決算・内部統制の高度化を通じて企業の信頼性を底上げする「“守り”の構築力」の両面が期待されています。こうした企業の採用トレンドは今後も続き、専門知識や特定のスキルを持つ人材の市場価値はさらに高まり、企業間の人材獲得競争は一層激しくなることが予想されます。

近年は労働人口の不足により、売り手市場で転職者優位な環境が続く一方で、安易な転職がキャリアの停滞を招くリスクもあります。今回のキーワードランキングも参考に、ご自身の経験・スキルがどの領域で活かせるのかを棚卸しし、5年、10年先のキャリアを見据えて慎重に次の一歩を検討していただければと思います。私たちも、その実現を全力で支援してまいります。

ランキングから読み取れる若手の採用トレンド

順位	2023年	2024年	2025年
1	カスタマーサクセス	SaaS	SaaS
2	SaaS	Java	Java
3	Java	決算	営業
4	インサイドセールス	カスタマーサクセス	カスタマーサクセス
5	採用	インサイドセールス	要件定義
6	広告運用	EC	インサイドセールス
7	AWS	新規	新規開拓
8	決算	SAP	決算
9	新規開拓（同率8位）	給与計算	エンタープライズ
10	中途採用	要件定義	Python 新規

■ SaaS市場の拡大が「THE MODEL」型セールス人材の需要を牽引

コロナ禍を契機に企業のSaaS導入が加速する中、スタートアップ企業の活発な資金調達や大手SIerの参入でSaaS市場は急拡大しました。当初は「ツールを入れること」自体が目的化しがちでしたが、導入期を越えると「いかにして売上を立て、LTV（顧客生涯価値）を高めるか」という収益化のフェーズに移行しました。

その結果、マーケティング、インサイドセールス（IS）、フィールドセールス（FS）、カスタマーサクセス（CS）が連携する「THE MODEL」型の分業体制が主流となり、各機能を専門で担う即戦力人材の採用が活発化しました。スタートアップだけでなく大企業でもこの傾向は見られ、企業規模を問わず、分業化されたセールス人材の需要が高まっています。現在では、特に組織が拡大したSaaS大手企業において若手のポテンシャル採用が一段落し、メンバーを束ねる若手リーダー・マネージャー候補の採用にも裾野が広がっています。

■ 安定の「Java」、基幹システムの継続開発と脱レガシー対応で根強い需要

「Java」が検索キーワードとして不動の人気を誇る背景には、その安定した需要基盤にあります。金融機関などの大規模な基幹システムで今も広く使われており、継続的な更新・追加開発のニーズが絶えません。近年は「2025年の崖」を前にした脱レガシーシステムの動きも加速しており、その移行先としてJavaが選ばれるケースも多く、安定した需要に繋がっています。こうした大規模・複雑な現場では、フレームワークや設計思想への深い理解が求められるため、短期的なリスクリングでの代替が難しく、経験豊富な人材の価値が高まっています。

また、Javaは現在もアップデートが続き、IoT開発でも使用されるなど、新旧どちらの環境でも活躍できる汎用性の高さも魅力です。企業側は「Javaでの開発経験」を「大規模開発をやり遂げる能力」の目安と捉え、採用の一次フィルタリングとして活用していると考えられます。

■ AI活用とDX内製化を背景に「Python」「要件定義」の価値が急上昇

2025年に「Python」が初めてトップ10入りし、「要件定義」も順位を上げるなど、企業の採用ニーズに新たな動きが見られます。「Python」の初ランクインは、生成AIの活用が、実験的な導入から本格的な事業活用へとフェーズが進んだことが背景にあります。Pythonはデータ活用、機械学習、生成AIにおける主要言語であるため、多くのAI関連求人で歓迎スキルとされています。加えて、データエンジニアやデータアナリストといった専門職の求人が増えていることもPythonの需要拡大を後押ししています。

「要件定義」の順位上昇は、企業のDX推進が「ツール導入」から「ツール活用・内製化」のフェーズへと移行していることが影響していると考えられます。これまで外部に委託していたシステム開発の上流工程を自社で担う動きが見られ、社内で要件定義ができる人材需要が高まっています。

ランキングから読み取れるミドルの採用トレンド

順位	2023年	2024年	2025年
1	単体	PM	決算
2	年次	単体	PM
3	java	決算	給与計算
4	給与計算	java	株主総会
5	決算	給与計算	連結決算
6	連結	SaaS	SaaS
7	給与 社保	SAP（同率6位）	採用
8	労務	採用（同率6位）	java
9	採用	セキュリティ	単体 決算
10	株主総会 連結決算	連結決算	要件定義

■DXは「導入」から「活用」へ。プロジェクトを完遂に導くPMの需要が急増

2023年までトップ10圏外だった「PM（プロジェクトマネージャー）」が、2024年以降急上昇しました。その背景には、企業のDXフェーズが「導入」から「活用」へと移行したことが挙げられます。

多くの企業でツール導入が一巡すると「導入したものの現場で使われない」「投資対効果が見えない」といった運用上の課題が顕在化。開発体制強化に向けて多くのエンジニアを採用したものの、プロジェクトを統括する人材が不足しているという構造的な問題も浮き彫りになりました。

こうした状況を受け、単に計画を立てるだけでなく、現場を巻き込み、成果が出るまで責任を持ってプロジェクトを「完遂」できる実行力・推進力を持つPMが求められるようになりました。また、コロナ禍以降のリモートワーク定着により、対面コミュニケーションに頼らず、要件を文書化し合意形成する能力の重要性が増したことも、PMの需要拡大を後押ししています。

■企業の「信頼性」を左右する決算業務、その複雑化・高度化を担うミドル層に期待

ミドル層の「決算」関連人材に求められる役割は、近年大きく変化しています。スタートアップ企業の増加や活発な資金調達を背景に、投資家への説明責任を果たすためのIR活動の重要性が高まっています。加えて、コーポレートガバナンス改革やESG投資の拡大により、会計の透明性やサステナビリティ情報の開示に対する社会的な要求も年々強まっています。

こうした市場の変化に対応するため、企業は年度決算や連結決算といった高度な実務経験に加え、内部統制の強化や情報開示の品質向上を主導できる人材を求めるようになりました。

さらに、生成AIによる自動化やクラウド会計システムへの移行といった技術的な変革期を迎え、新しい決算プロセスを設計・標準化できる能力も不可欠です。このように業務が複雑化・高度化する中で、それらを統括し、組織を率いることができるマネジメント能力もミドル人材に期待されています。

若手ハイキャリアのためのスカウト転職サービス『AMBI（アンビ）』

<https://en-ambi.com/>

高いポテンシャルを持つ若手ハイキャリア向けのスカウト転職サービス。企業からの直接スカウトやヘッドハンターからのスカウトが受け取れるだけでなく、公開求人への自主応募も可能です。大手・スタートアップ・行政などのレア求人も多数。幹部候補や次世代リーダー・マネージャー向けの求人をはじめ、早期にレベルの高い仕事に挑戦できる環境が整ったハイクラス求人だけを厳選して掲載しています。

最新のビジネストrendや活躍する若手のインタビューを題材としたクオリティの高い特集記事、人事担当者・ヘッドハンターが求職者の合格可能性を判定する「マイバリュー」など独自の機能を通じ、自身のキャリアについて考えるきっかけを提供。より高いパフォーマンスを発揮できる場を探す若手の転職活動を支援します。

ミドル世代に特化したスカウト転職サービス『ミドルの転職』

<https://mid-tenshoku.com/>

30代・40代を中心とした「ミドル世代」に特化したスカウト転職サービス。国内最大級20万件以上のミドル向け求人を取り揃え、経営幹部・CxO・部長クラスなど年収1000万円を超えるハイクラス求人・非公開求人も豊富です。複雑で多岐にわたるキャリアの整理をアシストする「職務要約の自動生成機能」や、ひと足先に転職活動を終えた先輩ミドルたちのリアルな声に触れられる「ミドルの転職体験レポート」など、ミドル世代ならではの転職事情に寄り添った機能とコンテンツを充実させています。

本ニュースリリースに関する
お問い合わせ先

エン株式会社 広報担当

<https://corp.en-japan.com/>

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1新宿アイランドタワー

TEL : 03-3342-6590 MAIL : en-press@en-japan.com